

あ い さ つ

佐賀県公立学校教頭会

会 長 千 北 昌 子

第56回佐賀県公立学校教頭会研究大会が、会員の皆様にご参集いただき開催できますことを心より嬉しく思います。本研究大会を開催するにあたり、佐賀県教育委員会をはじめ、関係諸機関の皆様方に多くのご支援を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

酷暑が続いた今年の夏、7月31日・8月1日に参集とオンラインを併用したハイブリッド型で全国公立学校教頭会研究大会高知大会が、また、8月22日・23日に九州地区公立学校教頭会研究大会宮崎大会が参集型で実施されました。各分科会において提言内容についての熱心な協議が行われました。宮崎大会では、佐賀県の提言者として、第1B分科会で小野しのぶ教頭先生（佐賀市立東与賀中学校）、第5A分科会で深川治孝教頭先生（神埼市立千代田東部小学校）に研究成果を発表していただきました。「継続性」「協働性」「関与性」の3Cに焦点を当て、副校長・教頭としての役割や取組を分かりやすくまとめたすばらしい発表でした。分科会に参加された先生方の管理職としての力量を向上させることができたと思います。共に研究していただいた佐賀市教頭会、神埼市教頭会の皆様にも感謝いたします。

現代は、変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代と言われており、変化に対応するために、大人も学び続けることが求められています。未来の創り手である子どもたちが豊かな人生を歩むための資質や能力を育む教育現場の管理職である私たち副校長・教頭にとって、「学び続けること」は必要不可欠です。

本研究大会は、県内の副校長・教頭が一堂に会し、分科会での協議を通して学び合うことのできる年に一度の機会です。各分科会における提言発表を基に、グループ協議での対話を通して、課題に対する改善策や解決に向けてのヒントを得るために、所属校の現状や自分の経験・考えを融合させることができるのではないかと思います。まさに、主体的・対話的で深い学びを実現する場です。「学び続けること」で副校長・教頭としての力量を高めるとともに、児童生徒や教職員を適切にサポートすることができるようになり、結果として、私たち副校長・教頭自身の心の安定と周りとの調和につながるのではないかと考えます。

今年度は、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」の2年次であり、令和8年度九州地区公立学校教頭会研究大会佐賀大会の開催に向けての準備を進める年でもあります。本大会が、教頭会の横のつながりをさらに深め、明日からの職務遂行に役立つ研究大会になることを願っております。

最後になりましたが、各分科会で指導助言を賜ります佐賀県教育委員会の皆様にご心より感謝申し上げます。提言者の先生方には、ご多忙な中に提言原稿作成や発表準備にご苦勞いただき、本当にありがとうございました。本大会の開催に向けて、研究部、総務部の先生方をはじめ、これまでご尽力いただいた全ての皆様にご心より感謝申し上げます、本研究大会のご挨拶といたします。